



令和3年7月6日
 荒川区立汐入こども園
 園長 大山 祐子
 看護師 大熊トシ子

今年も梅雨明け後は猛暑となりそうです。外気との温度差が大きいと体調を崩しやすいので、換気をしながらエアコンを上手に使用し、生活リズムを整え夏を乗りきりましょう。

週末や休みの日に遠出または帰省するときは、行先の感染症の流行状況を調べ、三密を避けられるよう計画を立てましょう。日程に余裕を持ち、子どもの常備薬を忘れずに持ちましょう！

感染症について

RSウイルス感染症



鼻水や咳など、多くは軽い症状で済む。
 ただし、乳児や喘息など既往がある子どもは重症化し38~40℃の高熱や呼吸がゼイゼイし苦しくなることもある。
 (登園のめやすは、
 熱が下がってから24時間経過、咳が少ない)

咽頭結膜熱 (アデノウイルス感染症)

38~39℃の高熱が続く、のどの痛みや腫れ目の充血などの症状がある。プールでうつることもあるのでプール熱ともいう。
 (登園のめやすは、
 主な症状が消え2日経過してから)



★例年、秋から流行するRSウイルス感染症が、6月から都内で急増しています。感染力が強く、大人もかかります。家族でも、タオルや食器などの共用はやめよく手を洗いましょう。

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



1 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



2 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



3 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
- タオルに包んだ保冷剤
- 冷えた缶ジュース

などを挟んで冷やすと効果的



注意!!
 39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます

はみがきカレンダー！ ご協力ありがとうございました。

【保護者からのコメントをご紹介します】

- パパの歯磨きでも嫌がらなくなった
- シールや色塗りを楽しんでた
- 鏡を見てやる気がでていた
- むしばきをやっつけようと頑張っていた
- ぴかぴかの歯でおいしいご飯をたべようね
- 歯磨きするきっかけになった
- 自分から歯磨きをしていた
- 丁寧に磨けてすごい

